



夏休みが終わり、前期も残り1ヶ月となりました。夏休み中には、28名の2、3年生が実習に取り組みました。学校モードの生活リズムを早く取り戻し、前期を締めくくりましょう！

卒業生の定着支援から

さいたま桜では、各支援センターと協力し、就労支援室の先生方を中心に卒業生の職場定着支援を行っています。この3月の卒業生は73名のうち54名が一般企業に就職しました。会社での様子を就労支援室の先生にお聞きしましたので、その一部をGood、Nogoodの2つに分けて紹介します。



【No good】

- ▼上司の指示は聞くが、一緒に働くパートの方達の注意はきかない。
 - ▼『自分ルール』を主張し、会社の方針や社会的なマナーをなかなか受け入れない。
 - ▼指を鳴らす癖がパートの方達には“威嚇”と見えて、怖がられている。
- 誰の指示、注意、話しでも素直に聞き、受け入れよう！
自分の言動が周りからどう見られているか、意識しよう！**

【Good】

- ◎確実な仕事ができるようになり、業務内容が入社当時より増えた。
- ◎1日6時間勤務で契約したが、働き振りが評価され、8時間勤務になった。
- ◎魚の3枚おろしの技術が上がり、会社の調理試験合格に向けて研修中！
- ◎同期入社の仲間と時々ランチに行くようになった。
- ◎3ヶ月無遅刻、無欠勤+仕事に対する意欲が多いに評価され、正社員に！
(→正社員となれるのは大変稀なケースです。)



就労

しえんしつ日記

数名の卒業生が働く会社を在校生と一緒に訪問した。いわゆる職場見学。対応してくれたのは、4月に社会人となった卒業生。自分の業務をわかりやすく説明するために何日も前から、準備をしてくれていたとのこと。そのお陰でとてもわかりやすく、丁寧に説明をしてくれたが、『出張旅費の支払い』という業務内容の難しさに現役の生徒達は目を白黒!?

在学中の実習で出た課題を学校で取り組み次の実習に活かしたこと、この会社で元気に働き続け、休日には趣味も充実したいなど、話をしてくれた。中でも一番心に残った言葉は、「1週間が過ぎるのが、すごく早い。1日の中でも、あれ?もうこんな時間か…とよく思う。」。毎日、一生懸命業務に従事する姿が目につく。

入社して4ヶ月余り。立派に社会人していることに感激し、会社をあとにした。

3年生の保護者の皆様

夏休み中、重度判定の同行や支援センターの登録等、ご協力いただきありがとうございました。今後もよろしくお願いたします。